

2015年4月29日(水曜日)の読売新聞に ネパール支援について紹介されました

2015年(平成27年)4月29日(水曜日)

読

賣

新

聞

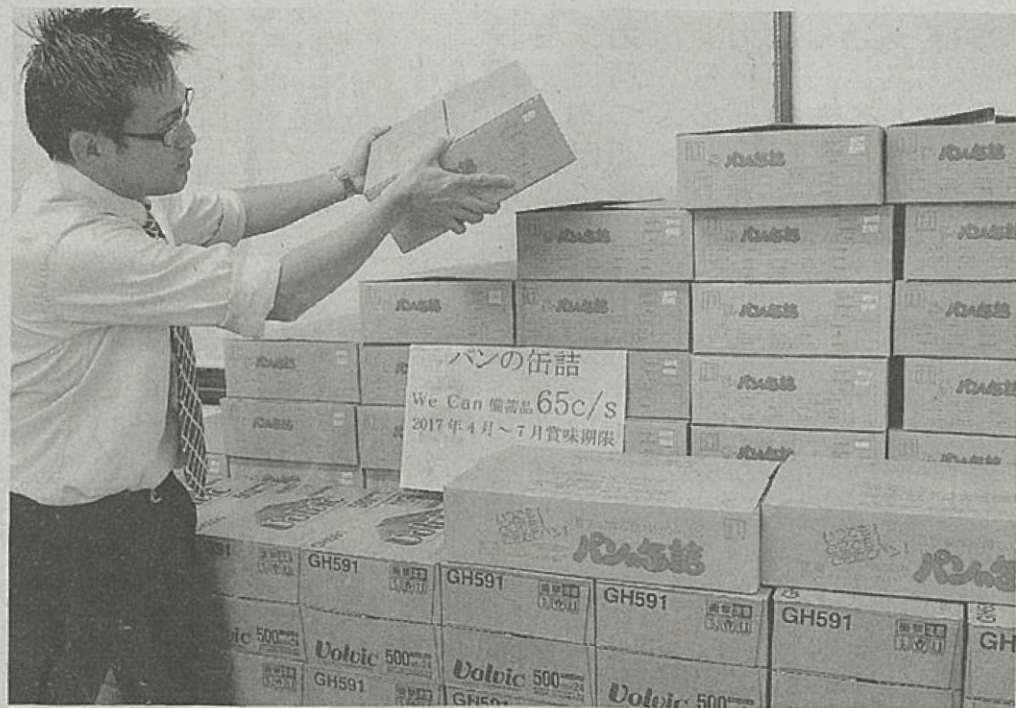
ネパールにパンの缶詰

国内外の災害・飢餓地の支援活動をしているNPO法人「災害支援機構We Can」(荒井昌一理事長)と、製パン業「パン・アキモト」(いずれも那須塩原市)は、深刻な地震被害を受けたネパールに備蓄用の「パンの缶詰」4170缶(5220食分)を5月上旬に届ける。海外在住ネパール人協会(東京)などを通じて送る。

同社は3月に大型サイクロンで被害を受けた南太平洋バヌアツに、同社の「救缶鳥プロジェクト」に賛同する個人や企業、団体の協力で約3300缶を送ったばかり。プロジェクトは、賞味期限37か月の缶詰を備蓄用に購入してもらい、2年後に更新・回収し、被災地などに送る仕組み。

今回は回収済みの缶詰が少ないため、同社は約350の企業や団体などに更新時期の前倒しに協力を求め、ネパールへの発

ネパールに送るパンの缶詰を整理するパン・アキモトの社員(28日)



送準備を始めた。

海外在住ネパール人協会国際委員会のタパ・ケサプさんは、「被災地の状況は大変厳しく、日持ちするパンの缶詰は大変ありがたい」と話している。

問い合わせは、We Can (0120・6003・5008)。